九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり

国土交通省 スマートシティモデル事業 重点事業化促進プロジェクト (1/2)

■統合移転事業と取組み内容

【九州大学統合移転事業】

平成３年10月に福岡市西区元岡・桑原地区への移転を決定（箱崎・六本松・原町地区の売却費を、伊都キャンパス整備費へ充当）

【跡地利用将来ビジョン［H25.2策定］】
（検討委員会が九州大学総長・福岡市長へ提言）

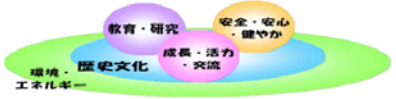
■まちづくりの方針

- 方針1 福岡市の持続的な成長に資する 新たな活力・交流を生み出す（例）広域行政機能　東京圏バックアップ機能 ― 成長・活力・交流
- 方針2 九州大学が存在した地として、充実した教育・研究の環境を生みだし、人を育てる（例）教育・人材育成機能 ― 教育・研究
- 方針3 高度医療施設の立地や高い利便性を生かして、安全・安心・快適で健やかに暮らす（例）防災機能　医療・福祉機能 ― 安全・安心・健やか

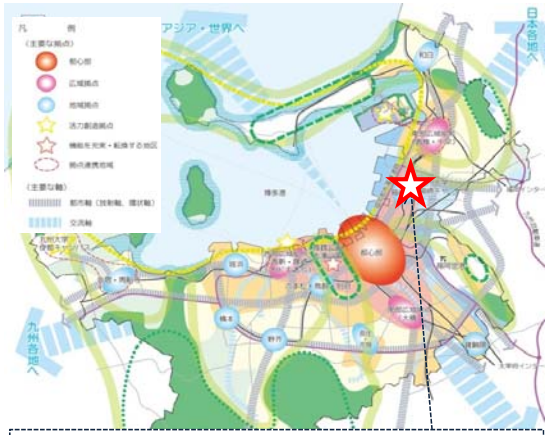
〈跡地利用にあたって踏まえるべき視点〉

- 方針4 千年のまち、大学百年の歴史文化資源を大切にする（例）近代建築物の保存活用（または記録保存） ― 歴史文化
- 方針5 次世代の環境技術と豊かな緑を生かして、環境と共生し、持続可能なまちをつくる（例）エネルギーマネジメントの導入 ― 環境・エネルギー

【まちづくり方針のキーワード】



【上位計画】（第9次福岡市基本計画）

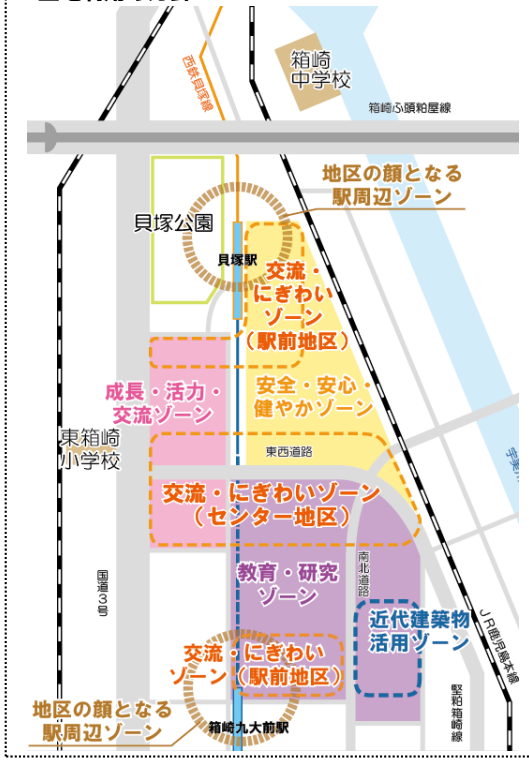


○**地域拠点（箱崎等）**
商業機能やサービス機能など諸機能が集積した地区

○**機能を充実・転換する地区（九州大学箱崎キャンパス）**
市街地内の貴重な大規模活用可能地として、大学の移転進捗を踏まえ、新たな都市機能の導入などを検討する地区

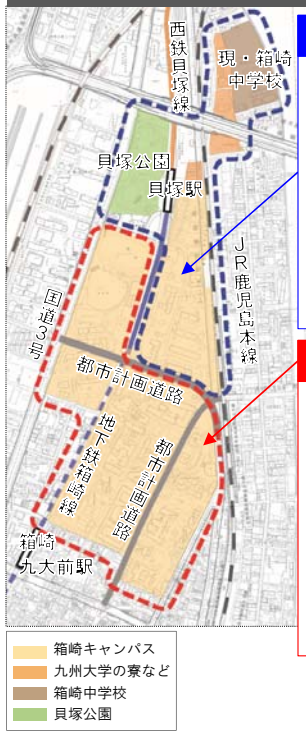
【跡地利用計画［H27.3策定］】（九州大学・福岡市）

■土地利用の方針



■都市基盤の整備手法・主体等

都市基盤の整備範囲（案）



北エリア（約20ha）

『福岡市』による『土地区画整理事業』

○貝塚駅周辺を含む**脆弱な都市基盤の解消**および**交通結節機能の強化**
（駅前広場整備，東西方向の連絡性向上など）

○**箱崎中学校移転跡地の活用**

○市有地や公共施設が多い中での**市の主体的な関与**

南エリア（約30ha）

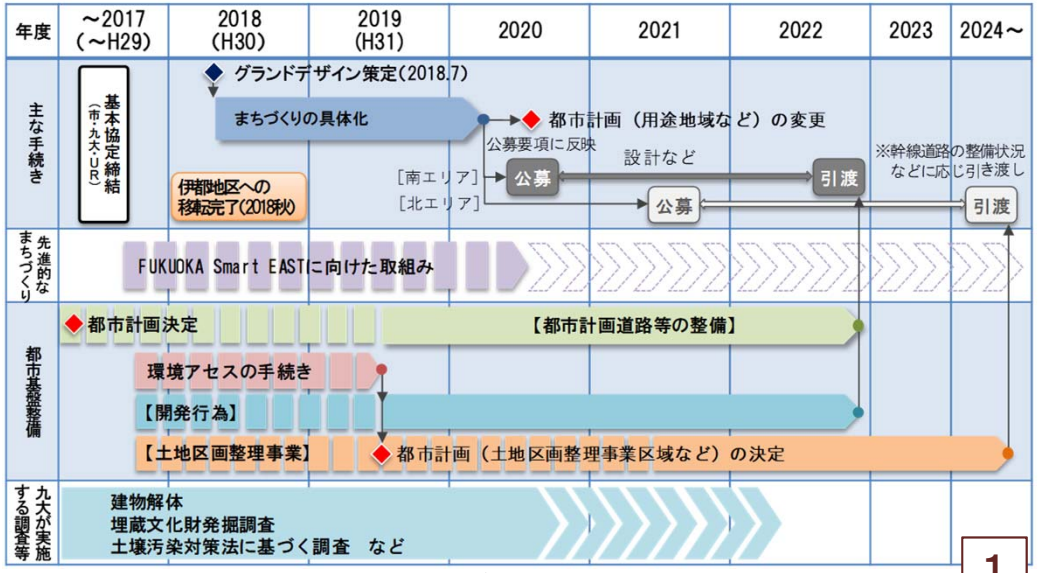
『ＵＲ都市機構』による『開発行為』

○九州大学は，**迅速な都市基盤整備**が可能な事業者として，**URを選定**

『福岡市』は，『ＵＲ』による都市計画道路等の『直接施行制度』を活用

■公共施設配置計画

■土地処分スケジュールの見通し



※現時点での予定であり，今後の検討により変更の可能性があります

■まちづくりの検討状況（箱崎キャンパス跡地グランドデザイン［H30.7策定］）

【まちづくりの方向性】

跡地利用
将来ビジョン
・
跡地利用計画

FUKUOKA Smart EAST

少子高齢化など，まちづくりの様々な課題を解決しながら，持続的に発展していくため，**最先端の技術革新の導入などによる，快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し，未来に誇れるモデル都市「FUKUOKA Smart EAST」を創造**していく。

まずは，その先駆けとして，箱崎のまちづくりにおいて取組み，それが全市に広がり，さらに市を超え，より多くの人々に届くよう進めていく。

グランドデザイン

【まちづくりの基本的な考え方】

○**九州大学が百年存在した地としてのブランド**と，広大な敷地や交通といった強みを活かし，働く人や学ぶ人，住む人，訪れる人などこれまで以上に幅広い人々が集まり，イノベーションを生み出す**新たな拠点を創出**する。

○千年以上に渡る箱崎の歴史や文化も踏まえながら，新たな拠点の創出に向け，**イノベーションを生み出す**チャレンジできるまちと，幅広い人々を惹きつける**高質で快適なライフスタイルや都市空間**づくりに取り組み，未来に誇れるまちを創造していく。

高質で快適なライフスタイルや都市空間 ⇔ イノベーションを生み出すチャレンジできるまち（好循環）

【まちづくりの基本的な考え方】

九州大学箱崎キャンパス跡地（土地利用の方針）

都市機能

○**「土地利用の方針」を踏まえ**ながら，**新たな拠点を創出するため**，平面・立体・複合的につながる**多様な都市機能の誘導**を図る。

都市空間

○**ここ箱崎だからこそできるまちづくり**に向け，**まち全体の一体感を創出**する空間整備や景観の誘導を図る。

○安全・安心・快適で健やかな暮らしを創出するため，憩いや安心を感じることができる**オープンスペースや歩行者の骨格動線となる「歩の軸」**など，**ゆとりある空間整備の誘導**を図る。

○周辺地域との一体的な発展を目指し，箱崎千年の歴史に育まれた文化や関係性を大切にし，**周辺地域との調和・連携・交流**を図る。

○**九州大学の地に存在する歴史的資源と緑**を活かし，**その面影や記憶を継承**する。

環境共生

○循環型社会の形成やエネルギーの有効活用，環境技術の活用など，**環境と共生した持続可能なまちの形成**を目指す。

マネジメント

○百年後の未来に誇れるまちづくりに向け，持続・発展していくための，**マネジメントの仕組みづくり**を目指す。

FUKUOKA Smart EAST

FUKUOKA Smart EAST

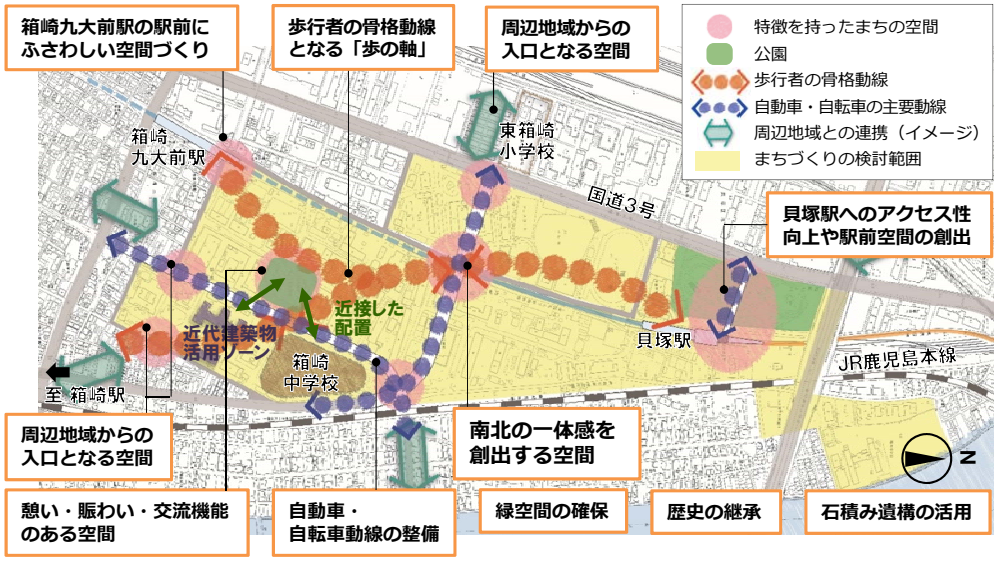
■分野別サービス例

①移動（モビリティ）
②健康（ウェルネス）
③共有（シェアリング）
④生活(リビング)
⑤買物(ショッピング)
⑥製造(メーカーズ)
⑦物流(ロジスティクス)
⑧教育(エデュケーション)
⑨労働（ワーキング）
⑩エネルギー
⑪安全(セキュリティ)

今後，箱崎へ導入可能なサービスを検討

■分野別サービスのイメージ例

【都市空間整備の考え方】



【都市機能配置の方向性】

まちづくりの基本的な考え方

これまで大学が担ってきた知の拠点を継承し，イノベーションを生み出す機能や人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルを支える機能を誘導

誘導する都市機能

（新たな拠点にふさわしい都市機能のイメージ）

○業務・研究機能　○居住機能　○生活支援機能
○教育機能　○交流・にぎわい機能　○医療・福祉機能

ゾーンの立地特性や空間整備の方針に応じて都市機能を配置

土地利用の方針（跡地利用計画）

教育・研究ゾーン
安全･安心･健やかゾーン
成長･活力･交流ゾーン
交流・にぎわいゾーン（駅前地区・センター地区）